

を創り出すものは何であろうか。

われわれの日々の生活をふりかえつてみると、何かしていないと気がすまない。いかにも忙しげに飛びまわつてはいるが、その実、むしろ折角創り出された「余暇」をただ慌しく過しているという場合が案外多いのではなかろうか。必ずしも閑寂な禅堂、茶室を必要としない。通勤の車中、幸いにも獲得した座席に腰をおろして、またほつと一息ついた昼休みの一刻に、しばらく思いを遠い将来に馳せ、視野を世界に拡げてものを考える心の「ゆとり」—「余心」—が欲しいものである。己れの仕事を通じて国の向背と世界の進展に思いを致す「余心」を持ちたいものである。過剰設備投資などという議論も、狭い日本国内を対象にした、目先のことに囚われ過ぎた考えではなかろうか。積極的な設備合理化によるコストダウンによつて世界の市場で互角に戦える実力を養うならば、鉄鋼生産 4000 万トンや 5000 万トンの生産ではなお足りないという嬉しい悲鳴がきかれるのではなかろうか。

私は「余心」こそ新しい着想と、困難への勇気を産み出す母胎であり、「余金」を、ひいては「余地」、「余暇」を創り出す基盤であつて、何物にも勝つてこれを大切にしなければならないと思う。「余徳」と題した所以である。

Tetsu-to-Hagané Overseas Vol. 1 No. 1 の内容および発行について

さきに4月号および5月号会告にてお知らせ致しました Tetsu-to-Hagané Overseas の Vol. 1 No. 1 はいよいよ6月末に発行のこととなりましたが、その内容は下記のとおりであります。なお購読を御希望の方は、下記要領にて御申込み下さい。

記

(I) Tetsu-to-Hagané Overseas Vol. 1 No. 1 の内容

会長挨拶	
展 望	日本の鉄鋼業について
協会記事	春季大会記事
研究報告	自溶性焼結鉍の製造について (鉄と鋼, 46 (1960) 4号, 5号) 八幡製鉄 辻 畑 敬 治, 他
	スラグ塩基度の新しい尺度および両性酸化物を含むスラグの塩基度 (鉄と鋼, 46 (1960) 4号) 茨城大 森 一 美
	鋼の連続鑄造に関する研究 (鉄と鋼, 46 (1960) 7号, 14号) 住友金属工業 明 田 義 男, 他
	シャルピー衝撃試験における荷重—時間曲線の研究 (鉄と鋼, 46 (1960) 2号, 12号) 東京工大 作 井 誠 太, 他
アブストラクト	鉄と鋼, 46 (1960) 7~12号
鉄 共 研 報 告	計測部会報告
技 術 資 料	最近の溶鉍炉作業の進歩 (鉄と鋼, 46 (1960) 5号) 八幡製鉄 和 田 亀 吉
特 許 記 事	鉄と鋼, 46 (1960) 7~12号
生 産 統 計	1960年の統計
工場・製品紹介	八幡製鉄, 富士製鉄

以上約 100 ページの予定

(II) 購読申込要領および頒価

- i) 希望者は Tetsu-to-Hagané Overseas と明記のうえ前金 (現金書留) を添えて申込むこと。
- ii) 申込先: 東京都千代田区丸ノ内2~10仲14号館 日本鉄鋼協会
- iii) 頒価

	1 部	1 年 (4 部)
国内 { 会 員	500円	2000円 (送料とも)
{ 非会員	1000円	4000円 (")
外国 { 会 員	\$ 2.00	\$ 8.00 (")
{ 非会員	\$ 4.00	\$ 16.00 (")